



「私たちは負けない」

「生き抜こう」 懸命の被災者ら

町が失われ、未だ安否不明者も多い中、被災者や住民は互いに励まし合い、一日一日を懸命に生き抜いている。廃墟と化した町では捜索活動や復旧作業が続けられ、大勢の人の手で明日への望みが繋がれていく。

大船渡一中の正門脇に掲げられた、力強いメッセージ。住民たちは心を合わせ、災害に立ち向かおうとしている＝立根町

がれきの山踏み越え、たくましく

避難所で手製のカードゲームに興じる児童。過酷な状況下でも子どもたちの笑い声はいつも明るい＝高田町・高寿園



ガソリン不足のため、自転車を使って移動する人々があちこちで見られる＝赤崎町



生存者の捜索に当たるアメリカの救助隊員ら。一線の望みも捨てず、必死にがれきをかき分けていく＝大船渡町



南区公民館で行われているまき割り。燃料を無駄にしないようにと外で火を焚き、暖を取っている＝三陸町越喜来



避難者名簿の前には常に人だかり。家族や知人の生存を信じ、避難所を巡り歩く人も＝高田一中



避難所を中心とし、徐々に電力の復旧が進んでいる＝三陸町綾里



多くの道路で亀裂が発生。ひび割れが広がる可能性もあり、注意が必要＝立根町の三陸縦貫道



15日から16日にかけて、無情の雪が降った気仙地方。避難所の中には身を寄せ合い、寒さに耐える家族らの姿＝高田一中



三陸・大船渡夏まつりの立役者・大船渡丸も流された。「海上七夕」として活躍する姿をもう一度見たい＝赤崎町



重そうなポリタンクを運ぶ人たち。2人で交代に持ち、家路を急ぐところか＝赤崎町